

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)~(8)は必ず記入してください。(9)~(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	北九州支部	(2) 記載者氏名:	原 広美	会員番号:	11990	事務局整理記入欄	北九州 - 58
分水嶺区分	W678壇之浦 ~ W674勝谷 ~ P119手前鉄塔	(3) 山行日:	2006年	2月	19日	(4) 天候	曇

(5) 参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

原広美	11990	原野幸雄	14080	八木國子	会友			
関口興洋	13643	塩屋薫	14081	森本信子	会友			
板倉健一	13471			角田政信	非会員			
中村昭彦	13991							
計				9名				
				計				3名

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	壇之浦人道入り口 ~ 稲荷神社 ~ 壇之浦PA ~ 火の山車道入り口峠 ~ 火の山 ~ 霊鷲山 ~ 176.6 ~ 勝谷 ~ P119m手前鉄塔												
アプローチ:	関門トンネル人道入り口集合												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)~(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点													
分水嶺到達点W678	壇之浦	下関	130	57	22.6	33	57	55.9	6		8:05		(10) -
	立石稲荷神社	下関	130	57	15.9	33	57	45.5	10	8:10	8:10	A-1	
	P100m地点	下関	130	57	3.8	33	57	59.9	99	9:00	9:05	B-3	
	火の山車道入り口峠	下関	130	57	10.3	33	58	20.4	72	9:30	9:45	B-2	(8) -
W677	火の山	下関	130	57	38.3	33	58	27.4	278	10:30	10:35	B-1	(8) -
	霊鷲山電波塔	下関	130	57	46.4	33	59	0.7	219	11:25	11:30	B-2	(9) -
W676	霊鷲山山頂	下関	130	57	56.7	33	59	21.4	296	12:20	13:00	B-2	(8) -
W675	覚苑寺山山頂	下関	130	58	41.4	34	0	8.8	186	14:30	14:44	B-1	
W674	勝谷	安岡	130	58	35.6	34	0	23.4	79	15:00	15:05	B-1	
分水嶺離別点	P119m手前鉄塔	安岡	130	58	59.0	34	0	38.8	119	16:00	16:05	B-1	
歩行終了点	四王司山田倉側登山口	安岡	-	-	-	-	-	-	-	16:40		A-1	
総歩行時間(休憩時間を除く):												7時間00分	

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	
W677	火の山	3	正	悪い	地下40cmのところでありコンクリートの蓋がしてあるので見つけにくい
W676	霊鷲山	4	正	やや悪い	地上3cm
W675	覚苑寺山 176.6	3	正	良	

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

霊鷲山の山頂には白い球状の塔 仏舍利塔 がある 又火の山と同様1890年以後軍の要塞地帯となる
火の山の山頂は公園になっておりきれいに整備されている。
1890年(明治23年)以後軍の要塞地帯となり 山頂に砲台が構築された。
火の山車道入り口からわずかに登った斜面に「陸軍」の文字が刻まれた古い御影石の標識が残っている。

(9) 水および植生に関連した特記事項

赤い実をつけたアオキが多くある

(10) その他の特記事項

壇之浦は平家滅亡の古戦場でありすぐ近くには安徳天皇を祭神とする赤間神宮と安徳天皇陵がある。
また、幕末には下関(馬関)攘夷戦争の舞台となったところである。
壇之浦から九州の和布刈(めかり)にかけ関門海峡をまたぐ関門橋のつり橋が美しい。

(11) 写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明:
(8) - 火の山(W677)にある三角点のある砲台跡

山行報告書(続き)

表面(1ページ目)に書ききれなかった事項を記入してください。



火の山(W677)にある三角点のある砲台跡